



宮城つながる森業交流祭



～森林づくり・木づかいの新しい動きとその魅力～

©宮城県・旭プロダクション

©宮城県・旭プロダクション

平成 30 年 4 月 1 日に「みやぎ森と緑の県民条例」が施行されました。これを契機とし、森林づくりや森林の機能、木材利用の意義、全国から支援をいただいている海岸防災林の復旧状況などを県内外へ発信するとともに、森林の整備や利用に関わる多くの方々が集う交流祭を開催します。

もりぎょう

“宮城つながる森業”とは・・・

大震災を経験した私たちは、「宮城らしい持続可能な未来を創造する森林、林業・木材産業」の実現をめざして、関係者同士のつながり、林業・木材産業と県民・企業・地域、特に若い世代とのつながり、復興応援への感謝をこめた全国とのつながりなど、交流・連携・協働の取組を進めます。

日時：平成 30 年 11 月 19 日 (月) 10:00～16:00

会場：仙台国際センター 2 階 (宮城県仙台市青葉区青葉山)

定員：300 名 (表彰・シンポジウム会場) ※ポスターセッション会場の入場には定員制限はありません。

主催：宮城県

— 交流祭開催内容 —

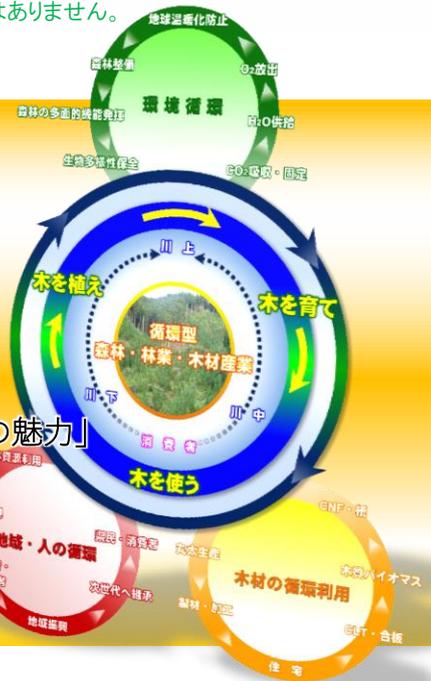
■ 表彰・シンポジウム (大会議室「橋」) 事前申込み必要

第 1 部 10:30～ 森林づくり講演会

第 2 部 13:00～ 森林づくり・県産材利用推進月間宣言
森林づくり・木づかい表彰
シンポジウム
「森林づくり・木づかいの新しい動きとその魅力」

■ ホスターセッション・ふれあい (大会議室「萩」) 事前申込み不要

10:00～ ポスターセッション・CLT 等木製品の展示など



後援：林野庁，宮城県林業団体連絡協議会，(一社)宮城県林業公社，(公社)宮城県緑化推進委員会，宮城県木材協同組合，宮城県林業振興協会
宮城県林業経営者協会，(財)みやぎ林業活性化基金，宮城県農林種苗農業協同組合，宮城県森林組合連合会，宮城県林業研究会連絡協議会
NPO法人宮城県森林インストラクター協会，宮城県森林整備事業協同組合，宮城県木材チップ工業会，宮城県CLT等普及推進協議会
(一社)宮城県建築士事務所協会，(一社)宮城県建設業協会，(一社)宮城県建築士会，(公社)日本建築家協会東北支部宮城地域会
(一社)日本建築構造技術者協会東北支部，(一社)東北建築構造設計事務所協会，宮城県特用林産振興会，農林中央金庫仙台支店
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター東北北海道整備局
河北新報社，**TBC 東北放送**，**ミヤギテレビ**，**仙台放送**，**NHK 仙台放送局**，**KHB 東日本放送**，**エフエム仙台**

※順不同 後援予定含む 平成 30 年 10 月 1 日現在

【参加申込み方法】 メール又は FAX，電話でお申し込みください。

【お伝えいただきたい事項】 氏名，連絡先電話番号，参加は第 1 部から，第 2 部からの別

詳しくは，ホームページをご覧ください。 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ringyo-sk/>

【参加申込み・問い合わせ先】

宮城つながる森業交流祭実行委員会事務局 (農林水産部林業振興課企画推進班)

E-mail : rinsin@pref.miyagi.lg.jp FAX : 022-211-2919 TEL : 022-211-2911

宮城つながる森業交流祭 プログラム

表彰・シンポジウム会場 (大会議室「橘」)

第1部 10:30~12:00

● 森林づくり講演会

講演:多種共存の森 — 持続的な木材生産による地域の再生 — 東北大学大学院農学研究科 教授 清和 研二氏
森林の種多様性の維持メカニズムとその再生の方法, その恵み, そして共存しながら林業を行い地域を再生させる仕組みを探る。

第2部 13:00~16:00

● 森林づくり・県産材利用推進月間宣言 13:00~

知事から森林づくり・県産材利用推進月間の制定を宣言します。

● 森林づくり・木づかい表彰 13:20~

森林・林業の振興発展に顕著な功績があった団体等に対し,知事から感謝状を贈呈します。

● シンポジウム 13:50~ コーディネーター:富士大学 学長 岡田 秀二氏

— プレゼンテーション —

1 宮城の林業・木材産業の魅力と目指す姿(宮城県)

県が平成30年3月に策定した「新みやぎ森林・林業の将来ビジョン」は「みやぎ森と緑の県民条例」の基本計画に位置づけられました。本県の林業・木材産業の魅力にふれながら,基本計画に掲げた森林,林業・木材産業の将来像について紹介します。

2 国際森林認証(FSC)取得等の取組 佐藤 太一 氏(南三陸森林管理協議会)

南三陸町では,東日本大震災を乗り越え,山・里・川・海の豊かな自然を活かした町づくりを目指し,国際森林認証(FSC)を取得。その後,南三陸町役場の全体プロジェクト認証を取得するなど全国から注目されており,こうした,新たなビジネスモデルなどを紹介します。

3 宮城県 CLT 等普及推進協議会の取組 前田 匡樹 氏(東北大学大学院 教授)

平成28年2月に産学官が参画した「宮城県CLT等普及推進協議会」が設立され,県産木材の需要拡大に向け,CLT, LVL等新たな県産木材製品の普及啓発を行っています。同協議会が行っているCLTモデル施設の建設や木造建築に係る技術者等育成などの取組について紹介します。

4 海岸防災林の再生に向けた植樹活動等の取組 吉田 俊通 氏(公益財団法人オイスカ)

東日本大震災の津波で被災した海岸防災林の再生に向け,公益財団法人オイスカが行う,地域の住民や高校生と取り組む保育活動や全国の松林保全団体等の取組などを紹介します。



ポスターセッション・ふれあい会場 (大会議室「萩」) 10:00~16:00

8つのテーマごとにコーナーを設けて,パネルやじかに触れていただきたいCLT製品などを展示し,担当者から説明を加えます。お子様連れの方にもお楽しみいただけるよう「木のおもちゃ広場」を用意しています。お気軽にご入場ください。

各コーナーの展示内容

① 東日本大震災からの歩み(海岸林, 特用林産物)

- 1 名取市の被災農家さんと進める「海岸林再生プロジェクト」(オイスカ)
- 2 国・県による海岸林復旧の取組(東北森林管理局, 宮城県)
- 3 特用林産物の生産再開に向けた取組(宮城県)

② 参加と交流の森林づくり

- 4 県民・企業等みんなの森林づくり活動(24の団体・企業)
- 5 高校生と小学生の森林学習交流会(宮城県柴田農林高等学校)
- 6 森林づくり・森林学習支援(宮城県森林インストラクター協会)
- 7 次代へつなげよう! 県民協働の森林づくり(宮城県緑化推進委員会)

③ 広げよう「木育」

- 8 チーム木女(mokujyo)の木育活動(NPO法人SCR)
- 9 木のおもちゃ広場(宮城県木材協同組合)

④ 新建材・CLTの魅力

- 10 宮城県CLT等普及推進協議会による製品展示と解説

⑤ 躍動する林業の担い手

- 11 登米市・南三陸町のFSC認証取得(登米市森林管理協議会, 南三陸森林管理協議会)
- 12 地域の森林整備を進める森林施業プランナー(栗駒高原森林組合)
- 13 林業への就業・技術取得支援(宮城県林業労働力確保支援センター)

⑥ 森林や木材の研究

- 14 東北大学大学院農学研究科(学生)研究成果
- 15 尚絅学院大学 環境構想学科(学生) 里山の昆虫
- 16 宮城県林業技術総合センター研究成果

⑦ 新法が成立した「森林経営管理制度」紹介

- 17 「森林経営管理制度」の紹介(宮城県)

⑧ 森の風景

- 18 日本風景写真協会宮城支部による写真展示

※開催内容は,今後変更が生じる場合があります。

— みやぎ森と木づかい魅力発見キャンペーン(平成30年8月~10月末)「写真の森」展示 —

(ポスターセッション・ふれあい会場内で展示)

応募された写真を「写真の森」として「身近にある森林や里山の風景」,「森林づくりや林業で頑張っている人」,「すてきな木造施設」などの身近な写真を多数募集しています。皆さま気軽に応募いただき「写真の森」づくりを進めましょう!

● 応募方法 ●

林業振興課ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/ringyo-sk/> をご覧ください。

